

セーフコミュニティいずみおおつ

第4回対策委員会を開催

第
9
回課題のトップ3を出し、
重点課題について考えましたみんなでつくる
安全・安心なまち第4回分野別対策委員会を
開催

2月に第4回分野別対策委員会が開催されました。

対策委員会は「交通安全」「高齢者の安全」「自殺予防」、そして「子どもの安全」「犯罪防止」「災害安全」の組み合わせでの合同開催となりました。

ワークシヨップ「対策委員会としての課題」を考える

今回のワークシヨップは過去2回と異なり、対策委員会ごとにまとまって行われ、はじめに前回検討した統計データなどからの地域の客観的な課題について再確認を行いました。その後、これまでのワークシヨップで検討した内容を踏まえ、それぞれ

前回議論した客観的課題を再確認の様子



リーフレットとポスター



が思う課題のトップ3を出し合ひ、対策委員会としての重点課題について考えました。今後、重点課題についての検討を進め、課題に向けた取り組みなどを考えていく予定です。

セーフ「コミュニティ」リーフレット・ポスターを作製

現在進めているセーフコミュニティ「いずみおおつ」の取り組みを市民の皆さんに広く知ってもらうため、リーフレット・ポスターを作製しました。

庁舎内や公共施設などに掲示しています。みんなでつくる安全・安心なまちをめざす取り組みにご理解とご協力をお願いいたします。

対策委員会のご紹介

「高齢者の安全対策委員会」

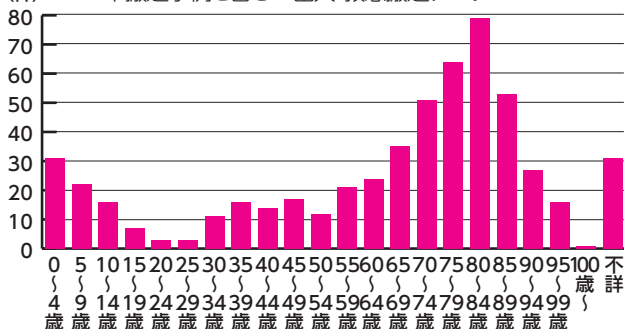
高齢者の安全対策委員会は、社会福祉協議会や民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会など14人の委員で構成しています。

一般負傷による救急搬送が、65歳以上の高齢層で多いこと（左図）や「転倒・転落」に対して多くの高齢者が不安に感じていることから、高齢者の事故・けがを予防することを目的に委員会が設置されました。

問合 危機管理課（市役所4階）

一般負傷による救急搬送の年齢層別件数（2013年）

※不搬送事例を含む 出典:救急搬送データ



市の重点的課題として何に取り組むべきかを協議しています

対策委員会での議論も、3回目が終わりました。6つの対策委員会は、泉大津市の重点的課題として何に取り組むべきかを協議しています。委員の皆さんは、自分たちの経験に加え、さまざまなデータをみながら泉大津市の課題について検討しています。さまざまな側面を考慮しながら検討しますので、時間がかかりますが、ここでしっかりと時間をかけておくことで、今後、実情にあった対策を検討する際に役立ちます。委員の方たちの活発な議論が期待されます。

JISC 代表理事
白石陽子氏のコメント

